

# 4年で4、6倍の訪問客、明治神宮の魅力！

150年構想の末、97年前に人工的に作られた永遠の杜、信仰の場。全国から奉獻された12万本の樹木が植えられた

明治45年(1917年)7月30日に明治天皇が、大正3年(1914年)4月11日にお妃の昭憲皇太后(しょうけんこうたいごう)が亡くなられた後に、御心霊のお祀りを熱望する国民の声が高き起こり、大正9年(1920年)、97年前に創建されました。

初詣客が300万人を超える「明治神宮」。いま外国人が急増中！彼らは何に魅力を感じているのか？  
**都心のど真ん中、静寂の中に感じるニッポンとは？手水や絵馬にも、世界ではあり得ない特徴が。**さらに2020年に向けた大規模修復中の明治神宮。森を守る数多くの人たちが働いている。日本人が気づいていない、明治神宮の魅力を探ろう！

東京・原宿駅から徒歩1分の場所に鎮座する「明治神宮」。東京のど真ん中に突如現れる鎮守の杜は、騒然とした都会のオアシスとして日々人びとの心を癒す、憩いの場になっています。



原宿駅を出てすぐ左に進み、新橋を渡り終えた先にある、顔といっても過言ではない大鳥居です。高さ12メートル・柱間9.1メートル・柱の直径1.2メートル・笠木の長さ17メートルで重さもなんと13トンもあるそうです。とにかく大きい鳥居は、日本一の大きさを誇ります。そびえ立つ鳥居と森のコントラストが美しく、とっても神秘的な雰囲気が漂っています。

初詣の参拝者数、毎年日本一を誇る日本を代表する神社は、2012年にミシュランガイドで有名なミシュランが選ぶ「日本の3つ星観光地20選」にも選出されました。都内でも有数のパワースポットとしても名高く魅力や外せない見どころがもりだくさん！

**魅力1** 100年近くの歴史を持つ、信仰の場、都心のオアシス。広大な緑と静寂がある。約70万m<sup>2</sup> 270種類およそ17万本の木々が植わり、50種類もの鳥たちが生息する  
賑やかな近代的な繁華街、新宿・渋谷・六本木に囲まれた、広大な緑の杜、信仰の場・明治神宮。  
新旧文化が混在、そのコントラストが日本的。

「家内安全」「学業成就」などのご利益があるという明治神宮は300万人以上という日本一の初詣人数をほこり、年間参詣人数も800万人を数える。また年1000組以上にのぼる結婚式も挙げられている。

**魅力2** 世界の宗教施設に清め水は欠かせません。手水では手を洗い、口をすすぎます。手や口を洗い清めることは禊みそぎを簡略化した儀式です。身も心も清め、清々しい気持ちでお参りください。  
日本の神社の「手水」は、宗派を問わず(キリスト教・イスラム教・仏教..)オープンです。  
そこに置いてあるひしゃくに直接口をつけていませんか？よく見かける光景ですが、マナーとしてはNGです。

「左手・右手・左手で受けて口・口をゆすいだ左手・ひしゃくの柄」の順番です。実際やってみると流れ作業のように、動作がスムーズにつながるはずですよ。

**魅力3** 絵馬 絵馬とは、神社や寺院で祈願をするときや、祈願した願いが叶ったことへの謝礼をするときに奉納する、絵が描かれた木の板のことです。  
絵馬は神様にお願ひ事をする時に神様にまず馬を贈って、その見返りとしてお願ひ事を叶えてもらうという意味なのです  
日本語でも英語でも自分の言葉で書けるのがいいですね・・・



**魅力4** 酒樽(漢字と日本酒が日本のイメージ)



大相撲の土俵入りも執り行われる明治神宮にはまた日本中から数々の銘酒も献上される。  
吉乃川、長者盛、栄川、北の誉、灘菊、神鷹、菊水などなど名だたる銘酒の日本酒樽が並ぶ。壮観だ。

樽前で記念写真をとる外人観光客が多い。